



## 「会津メダカ」を通して環境保全の重要性を発信！

～地域の小・中学校と連携した学習活動～ 県立葵高等学校 科学部



高田小学校で開催した「会津メダカ学習会」

県立葵高等学校科学部は、会津地域に生息する野生メダカを対象に、在来種と外来種の交雑についての調査と研究に取り組んでいます。メダカに関して、特定地域における分布状況を詳細に調査した研究は世界初となる取組とのことです。

同校科学部は、地域の小・中学生にも身近な環境問題から、科学への興味・関心を高めてもらおうと、地域の小・中学校と連携して、メダカの学習会等を実施しています。今回は、会津美里町の高田小学校で開催した「会津メダカ学習会」の取組について紹介します。

### ●●● 高田小学校での「会津メダカ学習会」 ●●●●●

県立葵高等学校科学部員の生徒5名は、8月4日に高田小学校で、5年生を対象に「会津メダカ学習会」を開催し、子どもたちに科学の面白さを伝えました。

メダカの生態や生息地が減少している現状等について、調査・研究の成果を説明する科学部員の生徒と説明に聴き入る児童



メダカが放流されている高田小学校の池でメダカを捕まえてからだの特徴を観察したり、泳ぐ様子を観察したりする児童と科学部員の生徒



### この実践から学ぶポイント！

～小・中・高校の児童・生徒が学び合い、高め合う取組～

地域の小・中・高校の児童・生徒が「環境」という一つのテーマに取り組むことを通して、互いに学び合い、高め合う取組です。小・中学生にとって、お兄さん・お姉さんの存在の高校生が主体となっていく学習会は、学校の教師による授業とはひと味違うものようです。科学の探究に真摯に取り組む高校生の姿は、憧れであり、小・中学生の探究心を高めるきっかけとなっています。現在、子どもたちの「理科離れ」が問題となっていますが、県立葵高等学校科学部の取組により、理科好きの子どもが増えることを期待しています！

👉 裏面の県立葵高等学校科学部員の生徒の感想を御覧ください。



## 小学校での「会津メダカ学習会」 における科学部員の感想



〈科学部長 2年4組 君島 こころさん〉

今回の活動では、物事を人に伝えることの難しさを感じました。

小・中学生に本質を理解してもらえるように、言い回しに注意しながら興味や関心を持たせる工夫に努力しました。皆が楽しんで活動している姿を見て、やって良かったと感じまし

〈科学部 1年2組 齋藤 広太郎さん〉

この経験を通して皆がメダカや地域の環境に関心を持つきっかけになってくれたら嬉しく思います。その「知りたい」という気持ちを大切にしたいと思います。発表の準備段階で自分の未熟な点を知ることができたり、小・中学生と関わることができたり、とても貴重な時間でした。

〈科学部 1年2組 二瓶 惺真さん〉

初めての発表で緊張しました。しかし、皆が興味津々に話を聞いてくれたので楽しんで発表できました。この講座を通して資料の作り方や発表のコツなどを知ることができました。また、自分の研究内容に対する理解を深められ充実した講座でした。参加した皆さんにとって生物に興味を持つきっかけになってくれれば嬉しいです。

〈科学部 1年3組 磯目 南十星さん〉

今回の活動を通して、資料作りや分かり易く説明する大変さを体験しました。苦勞の甲斐あって皆に楽しんでもらったので、達成感と共にもっと頑張ろうと思いました。

〈科学部 1年5組 佐藤 大地さん〉

自分たちで文章や発表スライドを推敲して、人前で発表できたことは、とても良い経験になったし、参加した小学生の皆さんも楽しんでもらったので良かったです。

皆で協力して取り組むことで大きな課題も解決できると思いました。